

# としよかん だより

2024. 5 NO.229

宍粟市立図書館

〒671-2576  
宍粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620 FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



🌼 今月のテーマ展示

## 空も飛べるはず！

5月10日から16日までは愛鳥週間です。  
展示コーナーに鳥やそのほか空飛ぶものに  
ちなんだ本を紹介しています。  
ぜひご覧ください。



### 『翼をください』

原田マハ 著(毎日新聞社)

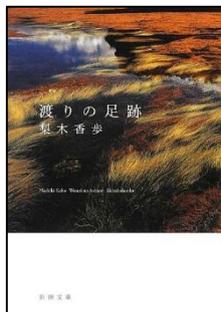
史上初の世界一周旅行を成し遂げた  
国産飛行機「ニッポン号」と、女性初  
大西洋単独横断飛行を果たしたアメ  
リカ人をモデルに、史実とフィクショ  
ンを織り交ぜ、世界一周に魅せられ、  
挑む人々の姿を書いた物語です。



### 『渡りの足跡』

梨木香歩 著(新潮社)

カモ、オオワシ、ワタリガラス…、渡  
り鳥の足跡をたどり、観察し、記録す  
ることから始まったエッセイ集。鳥  
の渡りを発端に、移民や冒険者など、  
進路を切り開き、移動してゆく人間  
の営みについても思索しています。



### 『ドードーをめぐる堂々めぐり』

川端裕人 著(岩波書店)

江戸時代初期、絶滅鳥ドードーが日  
本に来ていた!? 著者は好奇心のお  
もむくまま、その後の行方を追って、  
ヨーロッパをめぐり、はてはモーリ  
シャスで発掘作業に参加します。



### 小説

#### 『小鳥を愛した容疑者』

大倉崇裕 著(講談社)

推理小説

#### 『CAボーイ』

宮木あや子 著(KADOKAWA)

お仕事小説

#### 『ペンギン・ハイウェイ』

森見登美彦 著(角川書店)

ファンタジー

#### 『<sup>からす</sup>鳥に<sup>ひとえ</sup>単は似合わない』

阿部智里 著(文藝春秋)

ファンタジー

### ノンフィクション・写真集

#### 『旬の鳥、憧れの鳥の探し方』

石田光史 著(文一総合出版)

#### 『鳥類学者だからって、

鳥が好きだと思うなよ。』

川上和人 著(新潮社)

#### 『飛び猫』

五十嵐健太 著(KADOKAWA)

#### 『ムササビに会いたい!』

岡崎弘幸 著(晶文社出版)

#### 『たんぽぽの秘密』

森乃おと 著(雷鳥社)

他にもたくさん本を展示しています。

こんな本あります

### 『注文に時間がかかるカフェ』

たとえば「あ行」が苦手な君に』

大平 一枝 著 (ポプラ社 2024年刊)

吃音(きつおん)は話し言葉がなめらかに出不い発話障害のひとつです。吃音があっても、接客業をやってみてみたい。そんな若者たちがスタッフをつとめるカフェプロジェクトがあります。それが「注文に時間がかかるカフェ」(以下注カフェ)です。

プロジェクトの発案者であり、進行役をつとめる奥村さんも吃音をもち、無理解な周囲の言葉に傷つけられ、夢だった接客業をあきらめた過去がありました。転機となったのは、留学した豪州のカフェでの職業体験でした。そこでは、オーナーの方針で、移民や病気などの様々なハンディキャップをもつ人々が働いていました。間違えても、ゆっくりでも、客も店員もニコニコ笑っている。こんなカフェが日本にあれば、吃音があっても働けるかもしれない。奥村さんの中に、注カフェの

構想が生まれました。

全国各地を移動しながら一日限定で開店し、常設店はありません。吃音についての正しい理解を広めることや、接客を通して若者に自信を持ってもらうことに主眼を置くため、カフェの料金は無料です。客として訪れた人には、吃音者が言い終わるまで待つなどの基本的な接し方が説明され、スタッフは自分のペースで精一杯お客様をおもてなしします。

たった一日の経験ですが、本書に紹介される若者たちは時に驚くような精神的成長を見せます。一人の参加者は吃音を理由にいじめを受け、うまく話せない自分が悪いのだと思って生きてきました。しかし、注カフェで、彼女の「価値観」はガラリと変わります。ありのままの自分でも自信をもって話せばいいという気付きを得て、やがて自分も奥村さんのように誰かの背中を押したいと吃音の啓発にとりくむようになりました。もちろん彼女のように劇的に変わる若者ばかりではありません。大きくても小さくても一歩踏み出す若者たちの勇気が丁寧に描かれています。

子どもの本 60

「おかあさんだいすき」

光吉 夏弥 訳・編 文と絵  
大澤 昌助 絵 (岩波書店)

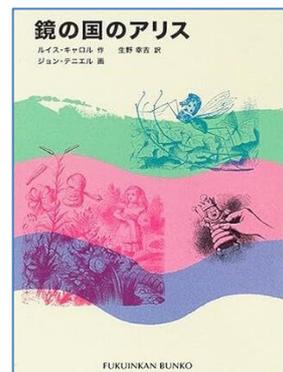
今日はお母さんの誕生日です。ダニーは、お祝いあげるものを探しに出かけました。

すると、めんどりに出会いました。めんどりは「たまごをひとつあげましょう」と言いました。たまごならもう家にあります。そこで、めんどりもいっしょに探しに行くことにしました。すると、がちょうに会いました。がちょうはまくらをつくるための羽をくれると言いました。そこで、まくらならもう家にあります。そこで、がちょうもダニーとめんどりといっしょに行くことにしました。ちが、ひつじ、めうしと次々に動物たちが増えていく様子がゆかいです。最後に、くまからいいことを教わり、大満足の結果が待っています。もう一編短い絵なしが入っています。やわらかな色彩の絵と、繰り返しが楽しく、読んでもらえば、四歳くらいから楽しめます。



「鏡の国のアリス」

ルイス・キャロル 著  
ジョン・テニエル 画  
生野 幸吉 訳 (福音館書店)



ある日、アリスは鏡の向こうに走って歩きました。そこではチェスの駒が歩き回り、おしゃべりしていました。本は文字がさかさまで、鏡に映さなければ読めませんでした。だ、読めたとしても意味のない詩が書かれていた。オニユリやバラと話して庭に出て、チェスの女王の駒が話してくると、チェスの女王の駒が話してくると、チェスの女王の駒が話してくると、チェスの女王の姿を見失って会いに行きました。逆の向きに歩いてみると、すぐに出くわしました。鏡の国では何もかもがあべこべなのです。

マザーグースの詩とチェスが下地となつた物語です。前作『ふしぎの国のアリス』に続き、ハンプティ・ダンプティや落馬してばかりの騎士(ナイト)など、奇妙な登場人物とちぐはぐな会話を繰り広げます。十歳くらいから大人まで楽しめます。

# 新着図書紹介

◆このリストは直近1か月に入った本の一部です◆

書名	著者	出版社	ジャンル
老いた今だから (講談社現代新書)	丹羽 宇一郎	講談社	人生訓
ルポ宗教と子ども 見過ごされてきた児童虐待	毎日新聞取材班 編	明石書店	宗教
一宮巡拝	中野 晴生	富山房インターナショナル	神社
三淵嘉子と家庭裁判所	清永 聡	日本評論社	評伝
最後は住みたい町に暮らす 80代両親の家じまいと人生整理	井形 慶子	集英社	住宅問題
涙にも国籍はあるのでしょうか 津波で亡くなった外国人をたどって	三浦 英之	新潮社	震災
令和6年能登半島地震 特別報道写真集 2024.1.1	—————	北國新聞社	写真集
糖質疲労 「疲れやすさ」と「老化」の正体	山田 悟	サンマーク出版	血糖値
休養学 「休み方」を20年間考え続けた専門家がついに編み出したあなたを疲れから救う	片野 秀樹	東洋経済新報社	休養
日本の城年表 古代から現代まで城の変遷が劇的にわかる	—————	朝日新聞出版	城
着回せる服、育てる服	SEEK BASIS	日本ヴォーグ社	洋裁
はじめてのビーズ刺し子 伝統模様がきらめくビーズ刺しゅう	米永 真由美	ブティック社	刺し子
極狭キッチンで絶品! 自炊ごはん	きじま りゆうた	新星出版社	料理
わたしが元気なのはこれを食べているから	横山 タカ子	家の光協会	料理
京菓子司「亀屋良長」あんこのお菓子帖	亀屋良長	文化学園文化出版局	菓子
お菓子好きのためのクリームの本	小松 友子	エムティエスコホレーション	菓子
電通マンぼろぼろ日記	福永 耕太郎	三五館シンシャ	広告業
農機具屋が教える機械修理・メンテ術	松澤 努	農山漁村文化協会	農業機械
だれでもできる有機のイネづくり	三木 孝昭	農山漁村文化協会	有機農業
成分の違いがわかる香りの植物 100	西尾 剛	誠文堂新光社	園芸
イラストもう迷わない庭木の剪定基本とコツ	—————	家の光協会	剪定
歌舞伎音楽事始 音を聴く深く観る	土田 牧子	NHK出版	歌舞伎
虎と巨人 (中公新書ラクレ)	掛布 雅之	中央公論新社	野球
帰ってきた避難小屋 41軒収録イラスト超図解!	橋尾 歌子	山と溪谷社	山小屋
フラワーデザインの教科書	—————	誠文堂新光社	花卉装飾
名場面の英語で味わうイギリス小説の傑作	斎藤兆史・高橋和子	NHK出版	英語解釈
怪談刑事	青柳 碧人	実業之日本社	日本小説
佐渡絢爛(けんらん)	赤神 諒	徳間書店	日本小説
家族解散まで千キロメートル	浅倉 秋成	KADOKAWA	日本小説
定年物語	新井 素子	中央公論新社	日本小説
十字路 星野警部シリーズ(3)	五十嵐 貴久	双葉社	日本小説
火の神の砦	犬飼 六岐	文藝春秋	日本小説
新陰(しんかげ)の大河 上泉信綱伝	上田 秀人	小学館	日本小説
春休みに出会った探偵は	大崎 梢	光文社	日本小説
spring	恩田 陸	筑摩書房	日本小説
山の上の家事学校	近藤 史恵	中央公論新社	日本小説
こまどりたちが歌うなら	寺地 はるな	集英社	日本小説
テミスの不確かな法廷	直島 翔	KADOKAWA	日本小説
鼓動	葉真中 顕	光文社	日本小説
定食屋「雑(ざつ)」	原田 ひ香	双葉社	日本小説
七帝(ななてい)柔道記(2)	増田 俊也	KADOKAWA	日本小説
捨てたい人捨てたくない人	群 ようこ	幻冬舎	日本小説
あいにくあんたのためじゃない	柚木 麻子	新潮社	日本小説
老いてお茶を習う	群 ようこ	KADOKAWA	エッセイ
マッドアダム(上・下) マッドアダムの物語(3)	マーガレット・アトウッド	岩波書店	外国小説
ミレニアム(7-上)・(7-下) 鉤爪に捕らわれた女	カーリン・スミルノフ	早川書房	外国小説
耳をすませば	チョ・ナムジュ	筑摩書房	外国小説
翻訳に生きて死んで 日本文学翻訳家の波乱万丈ライフ	クオン・ナミ	平凡社	エッセイ

## やぶれた本をみつけたら・・・

本のページがはずれたりやぶれているのを見つけたら、セロハンテープなどは貼らずにそのままカウンターまでお持ちください。

一般のテープは本を傷めますので、専用ののりとテープで職員が修理します。



## 5月のえほんのじかん

いろいろなえほんをよみます。

11日 (だい2 とうび)

25日 (だい4 とうび)

## 5月のおはなしのじかん

むかしばなしなどをかたります。

18日 (だい3 とうび)

10時30分からはじまります。

4さい以上の子どもがたいしょうです。

じかんにおくれないように来てください。

### ○ 読む予定の絵本 ○



『三びきのやぎのがらがらどん』

マーシャ・ブラウン え  
せた ていじ やく (福音館書店)

ほか、世界のむかしばなしの絵本を予定しています。

## 読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時	5月11日(土) [第2土曜日] 14時~15時30分	
作品	5月	『孤独のすすめ』 五木 寛之 著
	6月	『「山奥ニート」やってます。』 石井 あらた 著

移動図書館車  
ささゆり号  
運行予定日

巡回場所	5月	6月	貸出時間
山崎町内	21日(火)	18日(火)	10時40分~14時
一宮町(学校・こども園)	10日(金)	7日(金)	9時30分~15時30分
一宮町内	18日(土)	15日(土)	10時~15時
波賀町(学校・幼稚園)	8日(水)	5日(水)	10時15分~16時
波賀町内	25日(土)	22日(土)	10時30分~15時
千種町内	15日(水)	19日(水)	11時~14時



巡回形式のため時間によって貸出場所は変わります。  
場所・時間が変更になることがあります。詳しくはお問合せください。  
しーたん通信でもお知らせしています。



## 図書館カレンダー

5 月

6 月

日	月	火	水	木	金	土
			△	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

×休館：月曜日・祝日  
(月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館)  
△閉館：月末館内整理  
【末日が日曜日や休館のときは、翌月初め】  
開館時間：  
9時30分~17時30分  
(金曜日のみ18時30分まで)